

『医療・保健・福祉・市民の交流の場』

大村市在宅ケアセミナーだより

第128号 平成28年9月 発行元：〒856-0820 長崎県大村市協和町779
(一社)大村市医師会大村市在宅ケアセミナー広報部 TEL：0957-54-0151

ホームページ：<http://www.nagasaki.med.or.jp/oomura/caresemi/index.html>

平成28年度メインテーマ『地域医療、介護の将来を見据えて』～支援の輪を広げよう～

第145回 大村市在宅ケアセミナーご案内

日時 平成28年9月15日(木) 18:45～20:30

場所 大村市コミュニティセンター大会議室

内容 『命のケアを模索する』

NPO法人 ウェスレヤン・コミュニティカレッジ

理事長 内村 公義 先生



「生と死のケア学」としての死生学についての講演で、ターミナルケア、看取り、死生観などについてもお話し頂く予定になっています。

～～11月のセミナー予告～～

日時：11月17日(木) 18:45～20:30

場所：長崎医療センター

講師：にのさかクリニック(福岡市) 二ノ坂 保喜 先生

在宅医としてホスピスに取り組む。2014年、日本医師会第3回赤ひげ大賞受賞。著書に『在宅ホスピス物語』(青海社)、『在宅ホスピスのススメ』(監修、木星舎)、『病院で死ぬのはもったいない』(山崎章郎、米沢慧との共著、春秋社)などがある。

第 143 回 大村市在宅ケアセミナー 開催報告

日時 平成28年7月21日(木) 18:45 ~ 20:30

場所 大村市コミュニティセンター大会議室

内容 テーマ…『脱水』

(1) 『脱水について』

長崎医療センター 総合診療科 川口勝輝 先生

(2) 『栄養について』

大村市地域包括支援センター 管理栄養士 寺道和代 様



参加人数 156名 (内、当日入会 66名)



大村市在宅ケアセミナー 質問・感想/回答



- 現場で働いている中でのわからないことなどが解消できるのでとても良かったです。
- 脱水症に関する学習は何度か受講しましたが質問を回答する形式だったので改めて違う目線から考える事ができました。利用者や御家族の質問に対し効果的に助言ができると思えました。
- お二人の先生ともに大変わかりやすい内容でした。今の時期、高齢者の方に「水分摂っていますか？」と尋ねていましたが もう一步踏み込んだ情報収集をしたいと思えました。

- **化粧水**は脱水予防にはなりませんか？

【回答】化粧水はあくまで角質層の保湿効果が中心であるため、発汗抑制や体内の水分保持などの脱水予防への効果はあまり期待できないと考えられます。

- **脱水症になりやすい疾患**はありますか？

【回答】疾患とまでは言えませんが、肥満の方は発汗による水分喪失が多く、水分をため込む筋肉の割合も少ないので脱水症になりやすいと考えられます。水分喪失は下痢によっても起こるので、クローン病や潰瘍性大腸炎の方も脱水症になりやすいと考えられます。

- **初期の適切な応急手当**はありますか？

【回答】経口補水液や電解質飲料などの飲用や涼しい環境に連れていくこと、体を冷やすことは有効です。しかし、意識障害、痙攣等がみられた場合は速やかに医療機関を受診しましょう。

- **摂取する水分は温度**も関係しますか？

【回答】吸収効率、飲みやすさ、冷却効果を考えると10℃前後が適温と考えられます。経口補水液、電解質飲料であれば高温になると特に飲みにくく感じます。

- **夏、冬など季節**との関連もありますか？

【回答】高温で発汗、不感蒸泄量が増加する夏は脱水症が起こりやすいといえます。しかし、冬も水分摂取量の減少や空気の乾燥により脱水を起こしやすい背景があると考えられます。風による発熱やウイルス性腸炎による下痢、嘔吐も脱水の要因となります。

年会費の納金を忘れずをお願いします

セミナー受講の際は、受付で必ず提示を お願いいたします。

(平成27年度会員381名)

※ホームページにてセミナー便りを掲載しています。
便りの郵送不要の方は、ご連絡ください。

